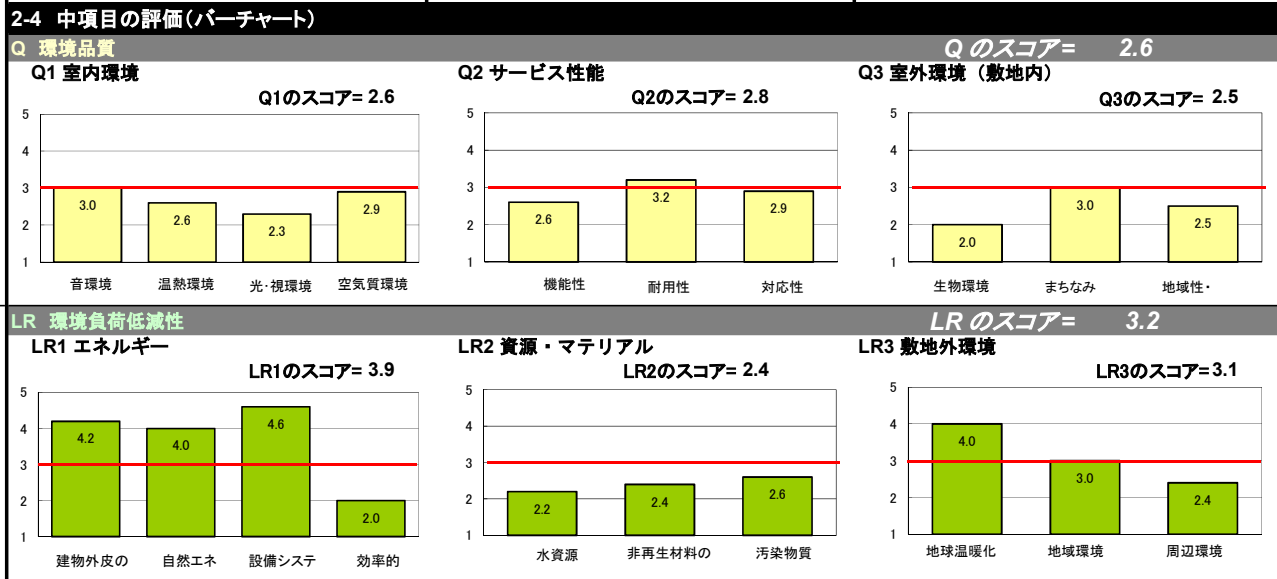
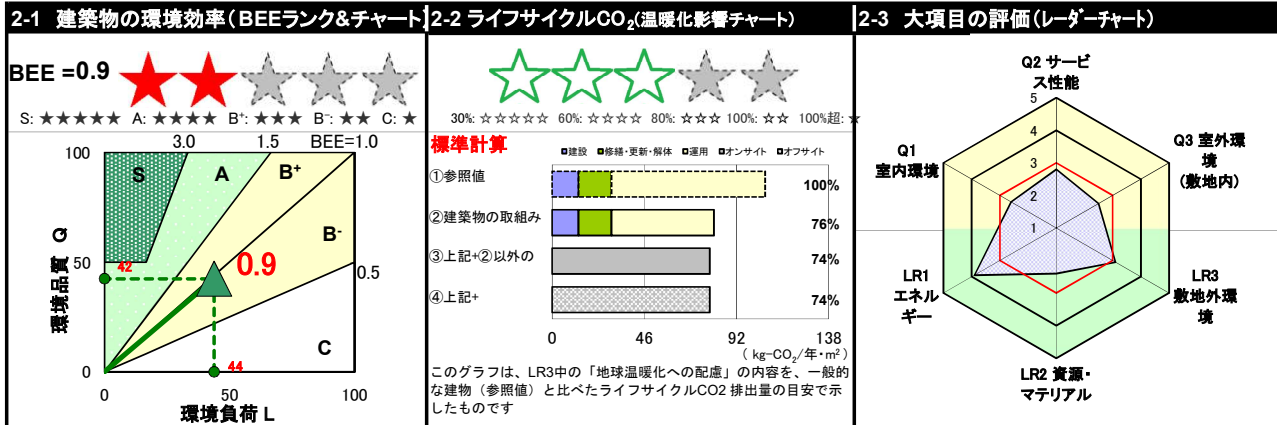


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	環境事業センター・石川小学校区児童クラブ	階数	地上3F
建設地	藤沢市遠藤字田方2023番17	構造	RC造
用途地域	工業専用地域、法22条区域	平均居住人員	516 人
地域区分	7地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年1月 予定	評価の実施日	2020年12月8日
敷地面積	4,352 m ²	作成者	いわた環境計画
建築面積	915 m ²	確認日	2020年12月9日
延床面積	2,734 m ²	確認者	いわた環境計画

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
<p>総合 自然採光、通風などに配慮、自然と調和した快適環境を創出する。</p>		<p>その他 0</p>
<p>Q1 室内環境 自然採光、自然通風を取り入れ快適な空間とする。開口部や外壁面・屋根面の断熱性能に配慮することにより、室内環境における快適性の向上を図る。開口部にLow-Eガラス、また断熱性能の高い断熱材を採用することで、施設利用者の快適な施設利用に配慮する。</p>	<p>Q2 サービス性能 0</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内の舗装材は保水性のある材料をとし、路面温度上昇を抑える。</p>
<p>LR1 エネルギー 自然採光、自然通風を取り入れエネルギー消費を抑える。LED照明を採用する。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル エコケーブルの採用、再生砕石の使用等 資源再利用に配慮する。</p>	<p>LR3 敷地外環境 敷地周囲に植栽を適宜施し、良好な歩行者空間を提供する。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される